

カードの 来来

取扱説明書

SPECIAL



VISGO

このたびはメガドライブカートリッジ「ワー
ドナの森 スペシャル」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。ゲームを始める
前にこの取扱説明書をお読みいただきます
と、より楽しく遊ぶことができます。



ヴァーダナの^衆衆^衆 SPECIAL

CONTENTS

ストーリー..... 3

そう さ ほうほう
操作方法..... 7

ぶ き せつめい
武器の説明..... 8

ショップとアイテム..... 9

かく せつめい
各ステージの説明..... 11

こうりゃくほう
攻略法..... 22



しょうねん
少年よ、
いま た あ
今こそ立ち上がれ！
あい もの
愛する者のために。

むかし ひとびと しあわ く
昔、人々が幸せに暮らしていたある
とし 都市があつた。その都市の名は「テツ
オン」。人々は、いつも 楽しむ 笑顔で絶
やさず、小鳥たちは 唄を さえずり、 楽園ともいえ
るような街であつた。

その 幸せは、その 昔一人の 勇者によって 得られたもの
であつた。

ひとびと へいわ く
人々が平和に暮らしていた時、街に 悪の魔法使い “ワ
ードナ” がやってくる、人々を 魔法の力で 水晶玉に変
えていった。ワードナは、その 水晶玉を 与えることで
さまざま 魔物を 手下に 引き入れようとしたのであつた。

「誰かワードナを倒す者はいないのか。」

「このまま、街はやられてしまうのか。」

街を逃げ出す者さえでてきた。

そんなとき、一人の 勇者が現れワードナと 勇敢に戦い、
その 壮絶な戦いの後、ワードナを 石の棺に 閉じ込めた
のであつた。そうして 平和と 幸せが おとづれたのであ
つた。

それなのに……、不幸は再び、突如訪れた。

ちか かざん ふんか
近くの火山の噴火により、大地震が起き石の棺の蓋が
ひら
開いてしまったのだ。

ワードナはこのチャンスを逃さずに飛び出した。

「こしゃくな人間どもめ。長い間、こんなところに閉

じ込めよって。覚えていろよ。私の力を思い知るがよい！」

ワードナは、復讐とばかりに人々を水晶玉に変えていった。そして、その水晶玉で魔物どもを次々と手下にしていた。

それでも懲りないワードナは魔物どもをも使い、人々を次々と水晶玉に変えていった。

人々は、恐れおののき逃げ回ったが、とうとうこの街には生きるものはいなくなってしまった。

それから、長い年月がたちその都市は、うっそうとした深い森におおわれた。今はもう、その森を訪れるものはない。

人は、その森を「ワードナの森」と呼んだ……。

ワードナは、今もなお、様々な手下どもを使い、その森に迷い込む人々を水晶玉に変えている。

そればかりではなく、水晶玉に変えられた人々を助けにその森に入っていた人までも、いろいろなワナで殺してしまうのであった。

今ここに、旅をしている若人が二人いた。その少年と少女の二人は結婚をしたばかりであった。

少年の名はライトス、少女の名はピティー。

そんな二人が、こともあろうか「ワードナの森」に迷い込んでしまったのだ。ワードナの手下の「メイジ」が、二人を見つけだし、





魔法によってピティーを水晶玉に変え、
ワードナに渡すためにつれ去ってしまった。
ライトスは悲しむ暇もなく、ピティー
を助けるために一人、メイジの去ってい
った方へ、ワードナの森の奥へ奥へと進ん
でいくのであった。

森の中で、ライトスを待ち受ける魔物たち。い
ろいろな方法で容赦なくライトスを攻撃してくる。
その攻撃をかわし、魔物たちを倒しながら進んでいく
ライトス。魔物たちを倒せば、小さな水晶玉やわずか
ばかりのお金を手にいれることが出来るが、その水晶
玉はつれ去られたピティーではない。しかし、水晶玉
を手にいれていくうちにライトスの力が増していくの
だ。おそらく、水晶玉に変えられた人々が力を貸して
くれているのであろう。

それに励まされるようにライトスは進んでいく。
その頃、水晶に変えられたピティーは……。
……ここはどこなのかしら。体にも力が入らないわ。
どうしたのかしら？何も思い出せない……。
そうだわ。ライトスと暗い森に迷い込んで、それから
……そう、何なのかしら、魔道士が現われて、私は魔
法にかけられて……。

ああっ！私は水晶に変えられてしまったのだわ。今ご
ろ、ライトスは……。
きっと、彼は助けにきてくれる。きっと……。
そのうちに小さな建物が見えてきた。そこに入ろうと
するライトス。しかし、その前には門番であろうか、

ドラゴンが待ちかまえていた。そのドラゴンに見つか
ってしまったライトスは、夢中でドラゴンに戦いを挑
み、何とか倒したあと転がるようにその建物に入っ
ていった。

その建物は、お店であった。親切なおじいさんが、こ
のワードナの森を進むのに役に立ついろいろな物を勧
めてはくれるのだが、ライトスの持っているお金には
限りがある。しかし、買えるだけの物を買ったあと、
ライトスは再びこの店に来ることを誓い、ピティーを
探しに出かけるのであった……。





操作方法



コントロールパッド

このゲームは
ひとりようせんよう
1人用専用です。

スタートボタン ・ゲームスタート ・ポーズ

Aボタン ・ジャンプ

Bボタン ・こうげき攻撃

Cボタン ・ジャンプ

8方向ボタン ・左右で歩きます。A、またはCボタン
と同時に使うと斜めジャンプが出来ます。

☆方向ボタンを下にいれると、しゃがみます。斜め下でも
同じです。

☆方向ボタン上は、はしごやロープでのみ使用します。通
常は(ジャンプ中も)意味を持ちません。

☆はしごやロープでは、方向ボタン上下で操作します。こ
のときと、フクロウにつかまっている時は、方向ボタンを左
右にいれてジャンプボタンで、左右にジャンプ出来ます。

☆その他、滑車や大きな鳥につかまっている時、方向ボタン
を下にいれることによって、飛び降りることが出来ます。



武器の説明

主人公の武器は、指先から出る魔法の炎。武器の魔法はゲームが進むにしたがって、店で好きなものを買って変えることができます。（全4種類）

パワーアップも別にあり、最高8連射が可能です。（ゲーム・スタート時は1発しか火は出ません）。



魔法の炎

“あまり遠くまで飛びません。”



星の剣

“波型に飛んで行きます。”



月の剣

“回転しながら飛んで行きます。”



太陽の剣

“最も強力なレーザー型です。”



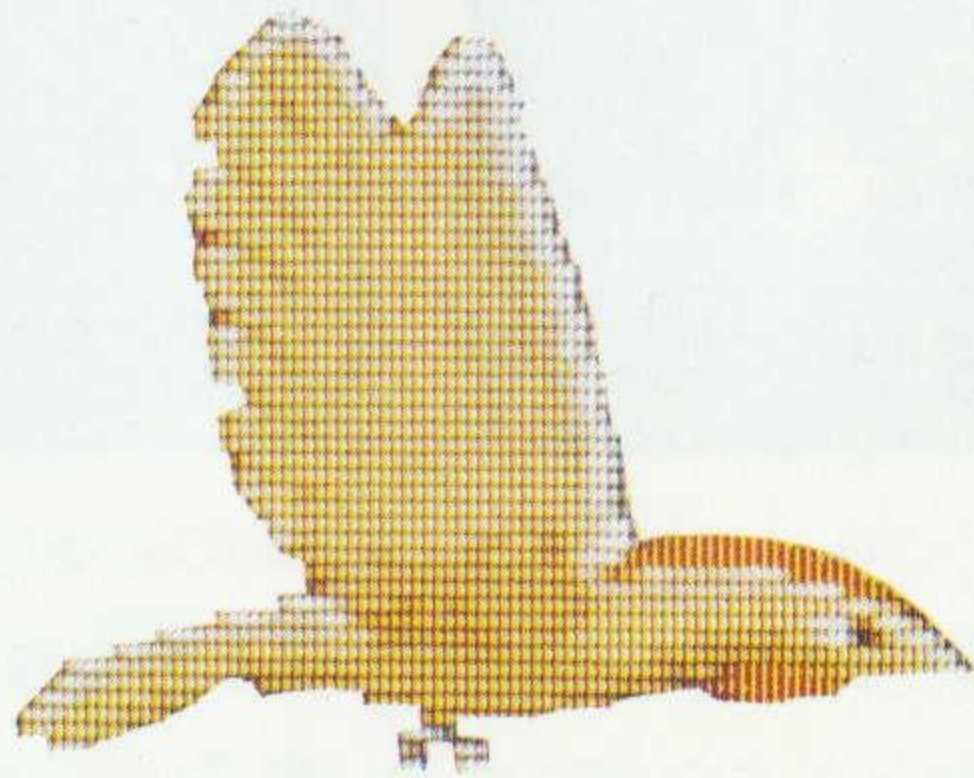
ショップとアイテム

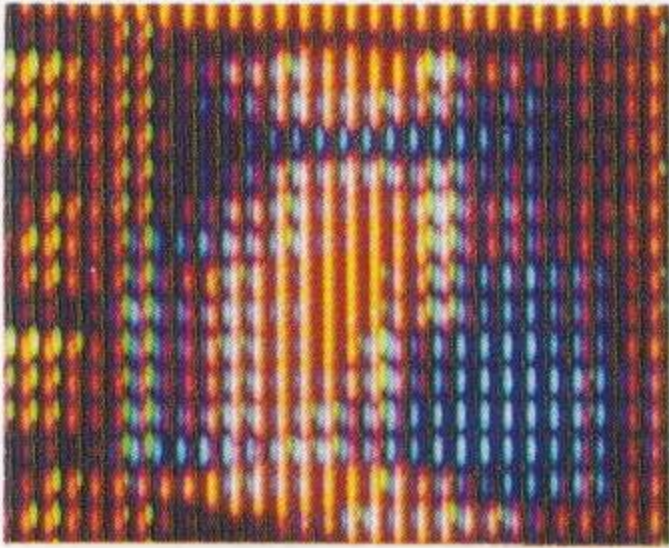


ショップ画面

各面の間^{かくめん}にショップ^{あいだ}があり、アイテム^かを買うことができます。

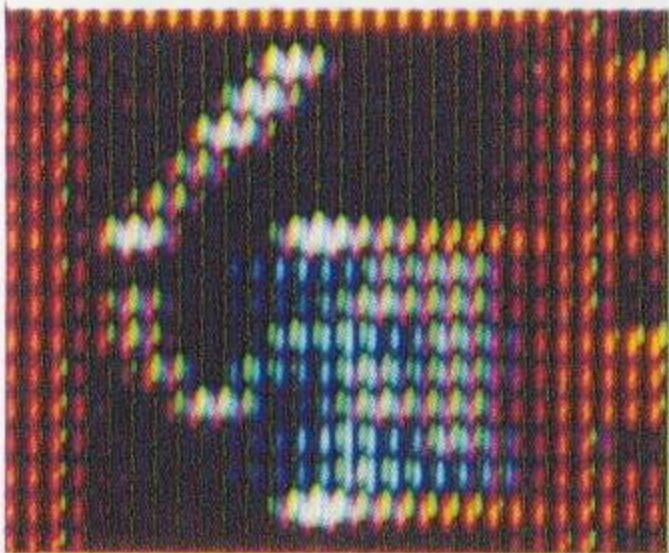
敵^{てき}を倒^{たお}すとゴールド^でが出るので、それをたくさん集^{あつ}めれば、それだけ多^{おお}くの物^{もの}を買^かう事^{こと}ができます。





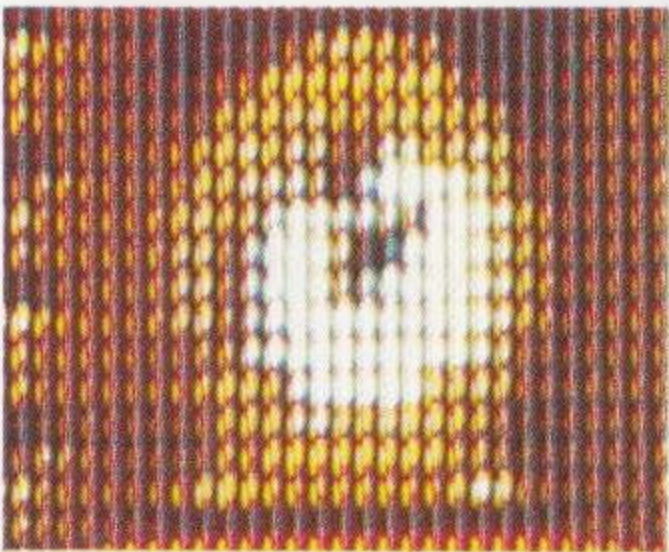
マント

マントは敵に^{てき}接触^{せつしょく}しても1度^どだけ身^みを守^{まも}ってくれます。



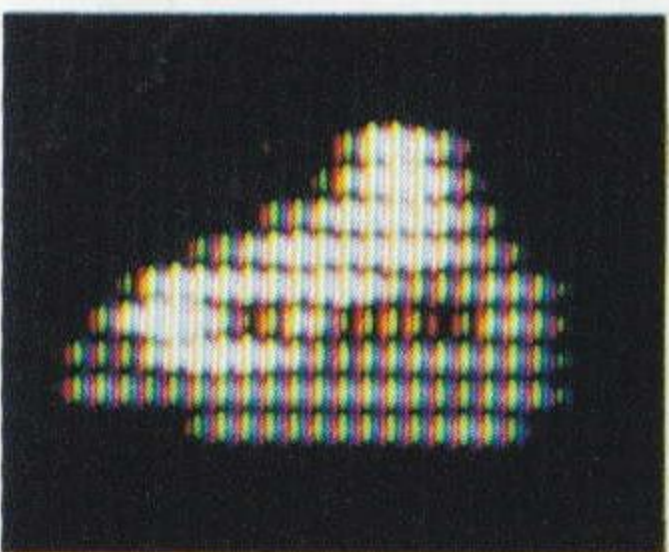
針と糸

針と糸は1度^どだけマントを^{しゅうふく}修復^{しゅうふく}できます。これとマントを持^もっていれば2回、敵^{かいてき}から助^{たす}かるわけですが、これだけでは役^{やく}にたちません。



時計

時計は持^もち時間^{じかん}がなくな^なったときにあと30秒^{びょうえんちよう}延長^{えんちよう}してくれます。



笛

笛はあ^ある特^{とく}定の^{てい}敵^{てき}を倒^{たお}すと出^でてきます。これを持^もっていると、その後^ご間^まもな^なく大^{おお}きな鳥^{とり}が出^でてきて、それにつか^{つか}まること^{こと}が出来^{でき}ます。



ハイジャンプ・シューズ

ハイジャンプ・シューズも特^{とく}定の^{てい}敵^{てき}を倒^{たお}すことによ^よって、てにい^いれること^{こと}が出来^{でき}ます。1度^どだけ高^{たか}く飛^とべます。



各ステージの説明



ステージ1：〈ボス：エメラルド・ドラゴン〉

ワードナの森の入口。うっそうと茂る薄暗い森のなか。途中には、不気味な沼もあり、そこに落ちてしまえば、ひとたまりもない。

つたを上り、狭い足場を飛び移りながら先に進むのだ。最初のステージでもあり、無理をせずに進めばさほど難しくはない。



ギザール

一定の高さで動き回る鉄の頭。ギザール同士でぶつかって跳ね返る。

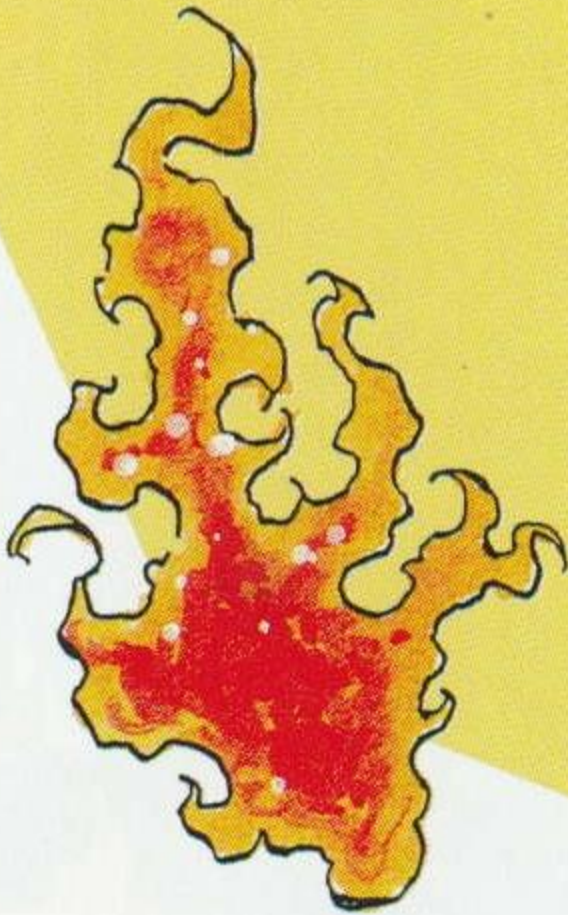
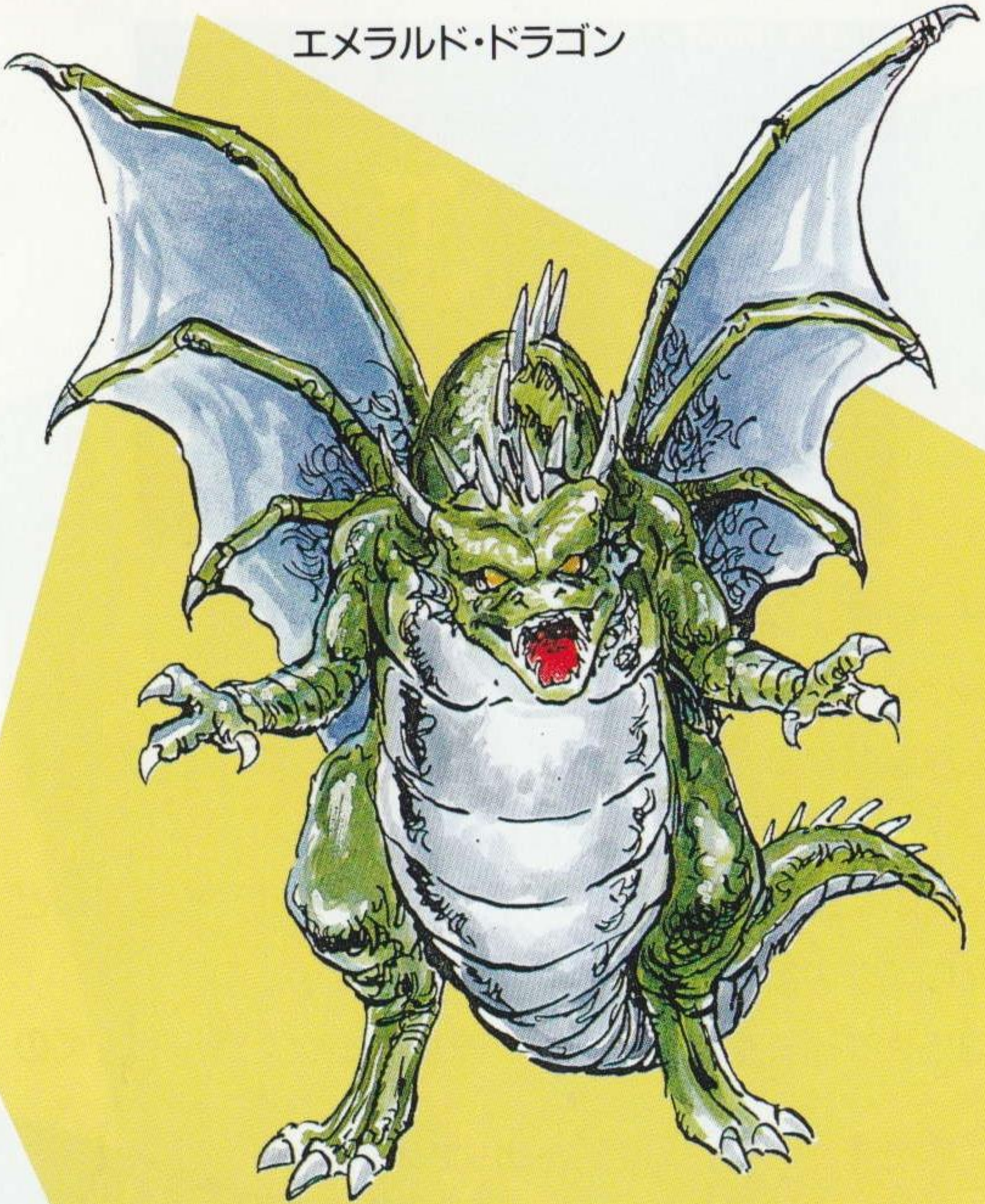
ボクル

火の海から吹き上がってくるモンスター。





エメラルド・ドラゴン



ファイヤー

燃える炎が地面をはい回る。タイミングよくジャンプして避けよう。

スパック
トゲを持って、地面を
はい回る。





ステージ2：〈ボス：カジヤ〉

機械仕掛けの建物。さまざまなトラップが行く手を阻む。

巨大な回転する刃物、すべての物を押しつぶしてしまうようなプレス機、足場にはベルトコンベヤー。

タイミング良く、それらのトラップをかいくぐり、どんどん先に進むのだ。

無理をせず焦らずにタイミングを見計らって進んで行くのだ。

カリアゲ

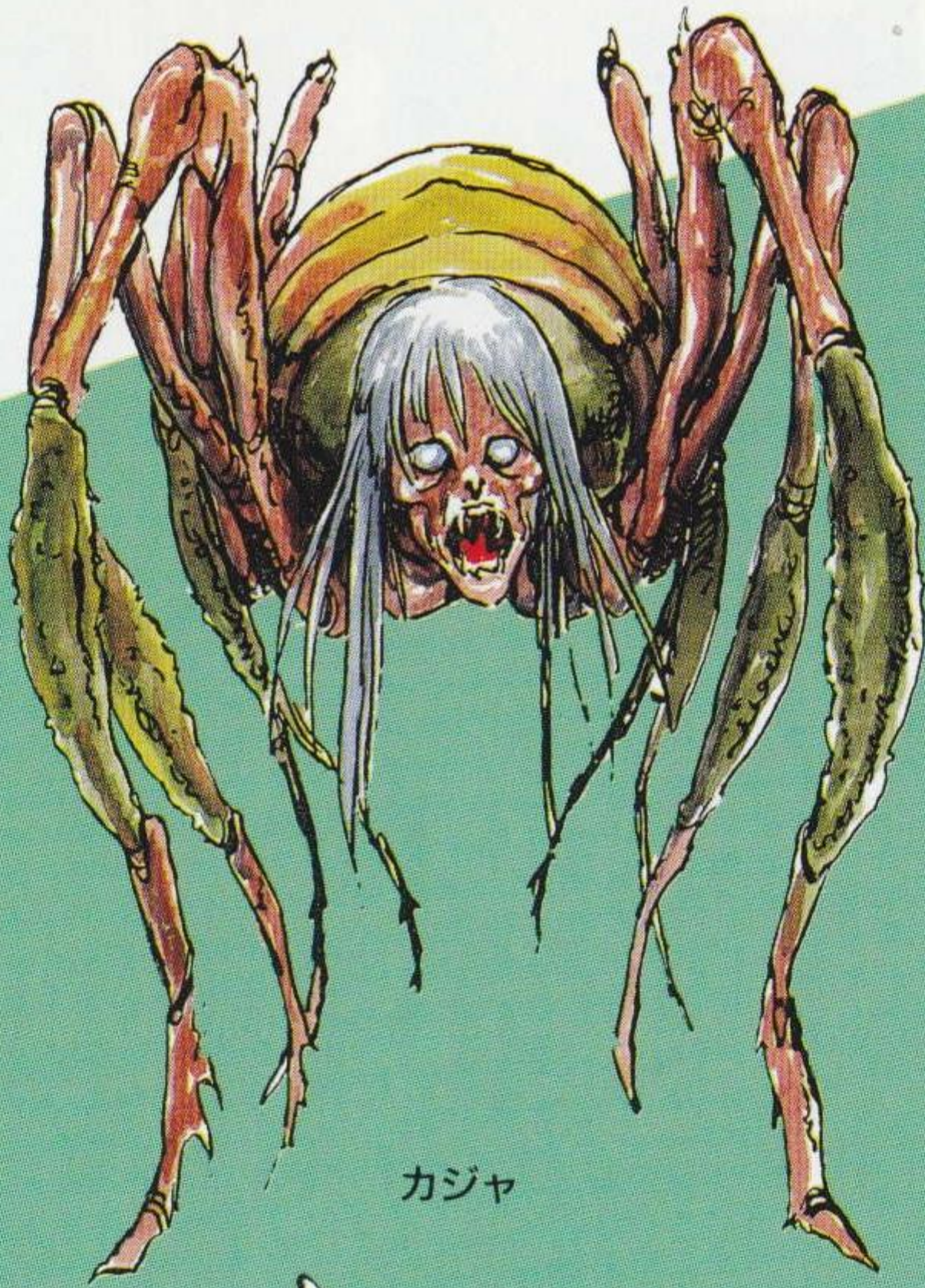
1枚の刃物が回転しながら襲ってくる。タイミングを見計らいながら避けよう。



ゾンビ・ヘッド

ゾンビの頭、炎と共に現れ宙をさまよう。





カジャ



デカトン

モノドローン^{どうよう}同様な動きをする怪^{うご}物^{かい}。手ごわくはない。

ヌラグッチ

奇妙な格好^{きんめい}で飛び跳^{かつこう}ねる。攻^と撃^ははしてこないが、タイミン^{こう}グがとりづらい。



ステージ3：〈ボス：ファイヤー・ドラゴン〉

いちめん か は はやし のなか。ひ ふ かざん。ときどき ひばら
 一面枯れ果てた林のなか。火を噴く火山、ときどき火柱を
 ふ あ ひ うみ。はやし はい い。さいしょ あらわ
 噴き上げる火の海もある。林に入っていくとまず最初に現
 れるのは、マントを着て中を飛び回る骸骨。盾を持っている
 のでしょうめんからのこうげきつうようは通用しない。てごわいあいて
 るので正面からの攻撃は通用しない。手ごわい相手である。
 つぎつぎ あらわ てき たお すす
 次々と現れる敵を倒し、どんどん進め。

とちゅう あらわ おお たお て い
 途中で現れる大きなハチ(?)を倒し、アイテムを手に入れ
 るのがポイントだ。

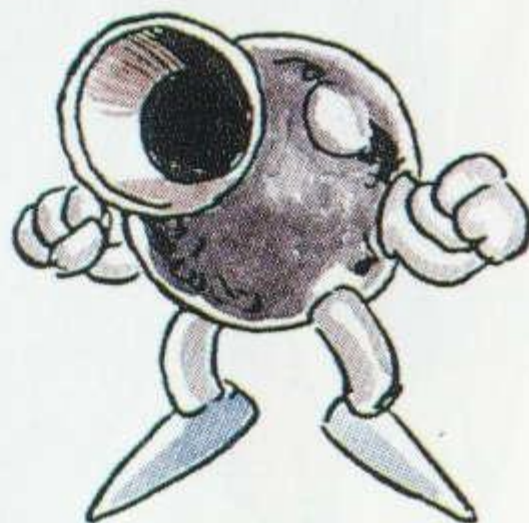


キント

ふだん いし たご
 普段は石の卵だが、
 こうげき
 攻撃をすると羽と足
 がでてくる。

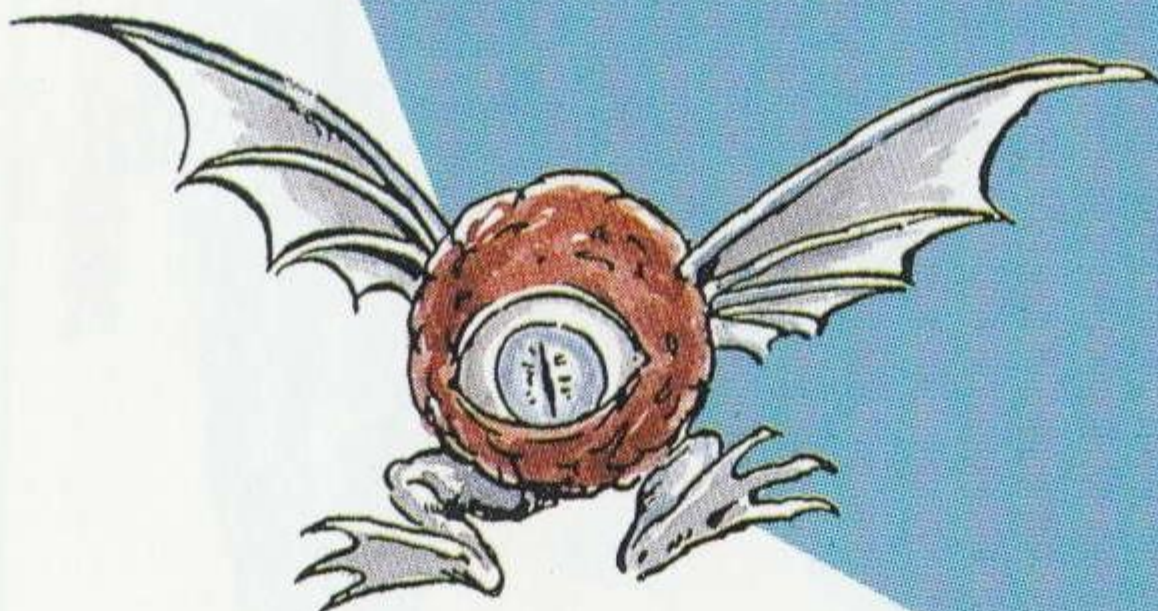
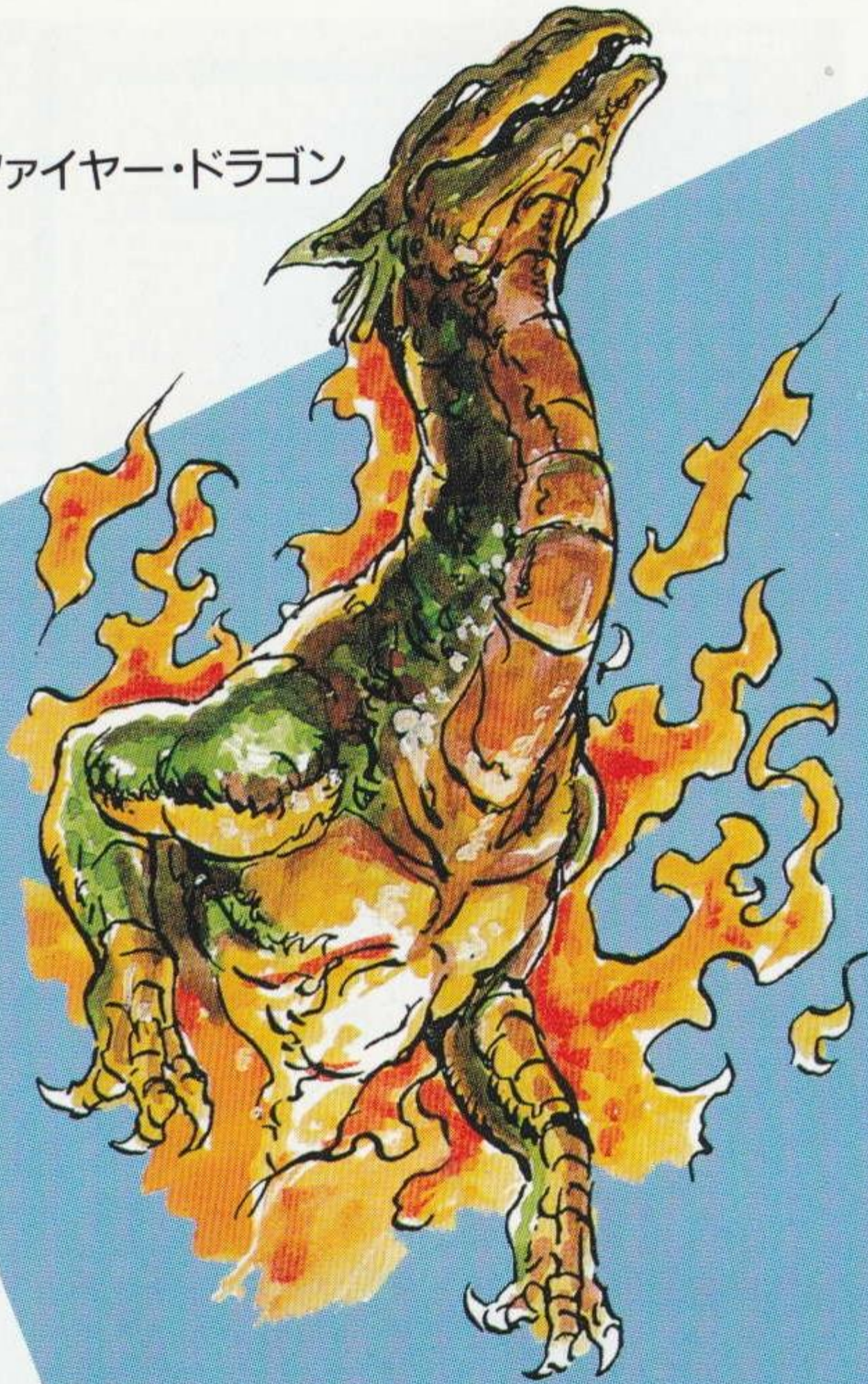
タイホー

いっさい ほのお ふだ ほうだい
 一斉に炎を吹き出す砲台。
 ほのお だ み しか
 炎を出すタイミングを見計
 らって避けねば。





ファイヤー・ドラゴン



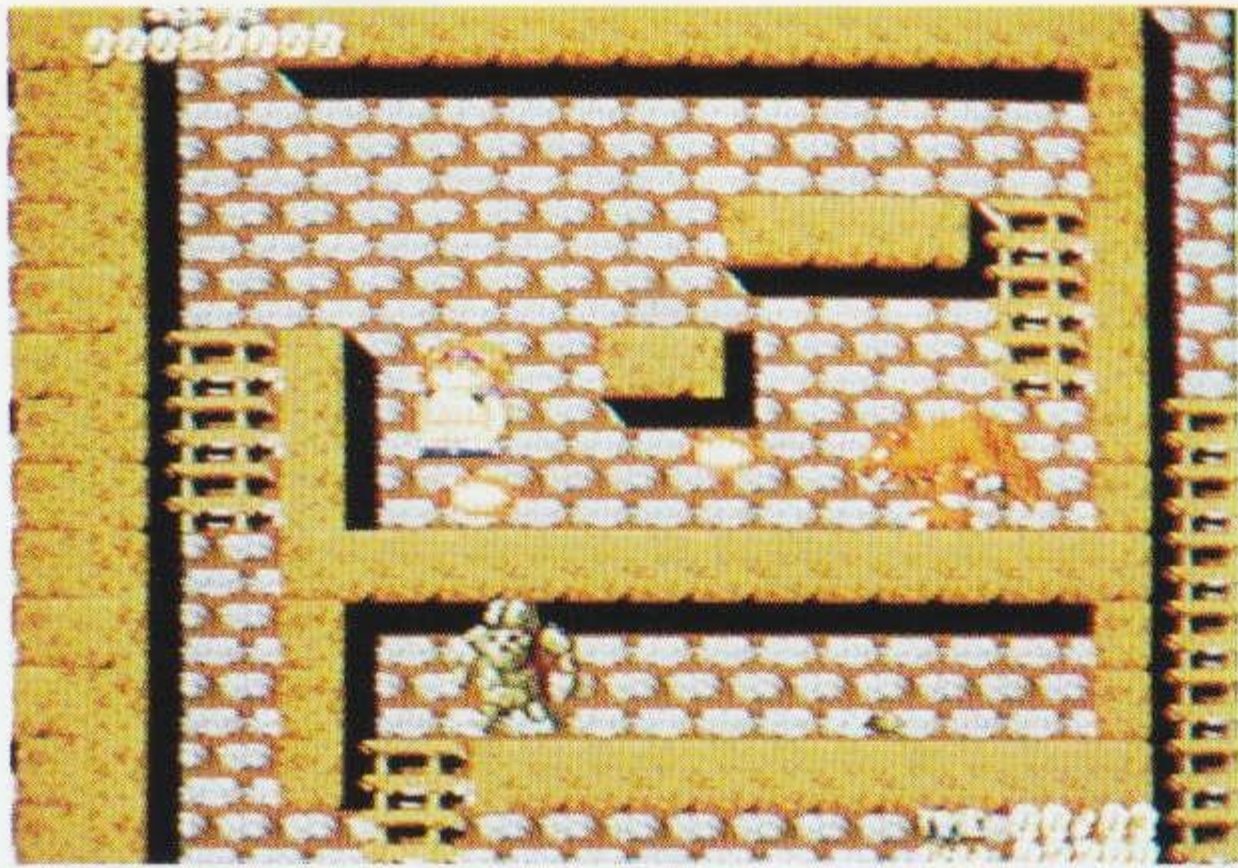
モノドローン

ひとめきまようかいぶつ
一つ目の奇妙な怪物。
ふわふわ飛び跳ね
ている。

ブルフ

チヨ口チヨ口と動
き回る敵。

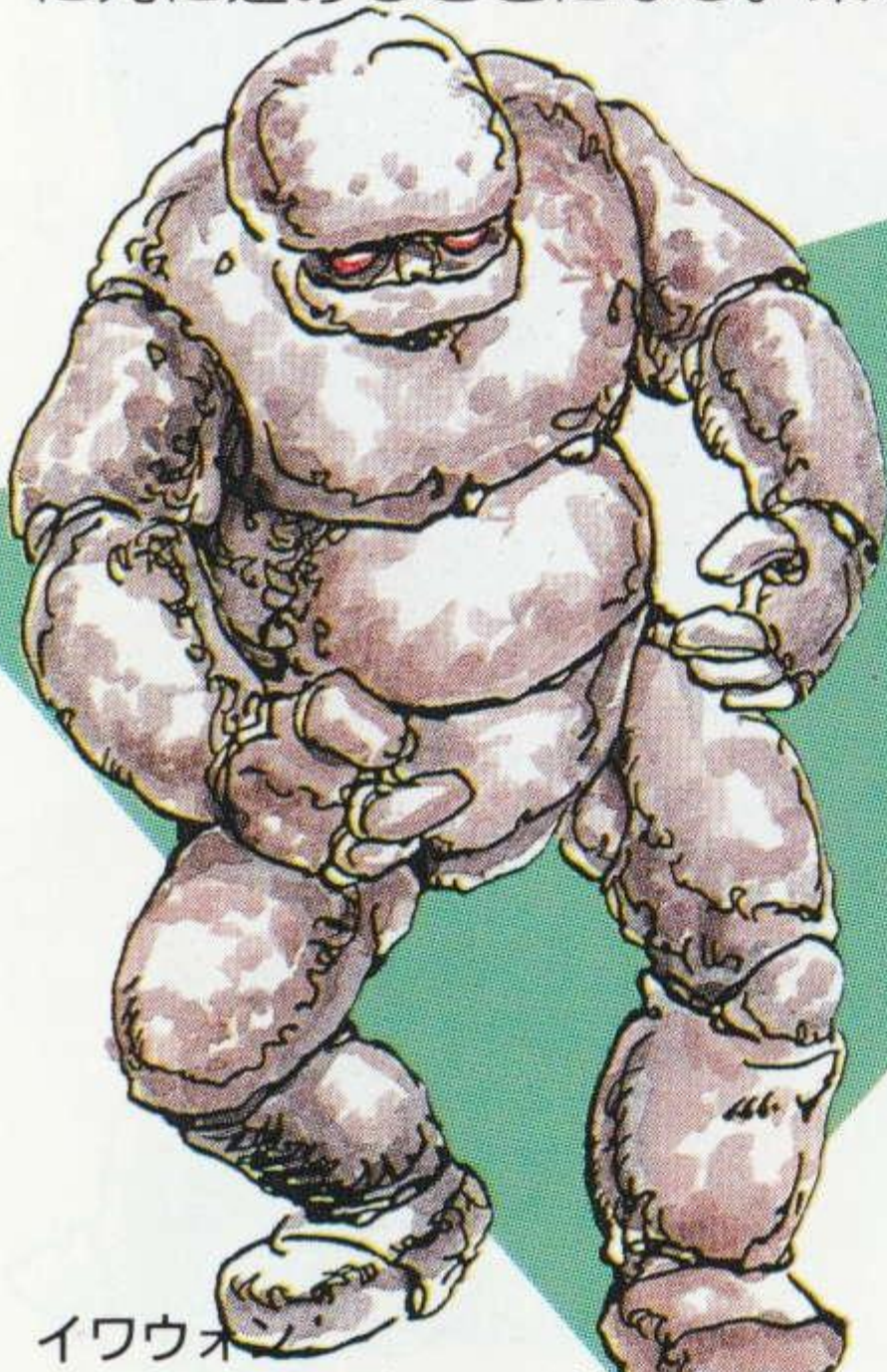




ステージ4：〈ボス：ダゴーム〉

迷路のような城。中にはたくさんのはしごがあり、それを
のぼり降りするのだが、途中で自分を見失わないようにしな
くてはならない。

城の中にはおばあさんがいて、彼女に手助けすることで楽
に先に進めることになる。果たしてその方法とは……？



イワウオン

はじめは小さな岩だが、近づくと変
身して襲ってくる。

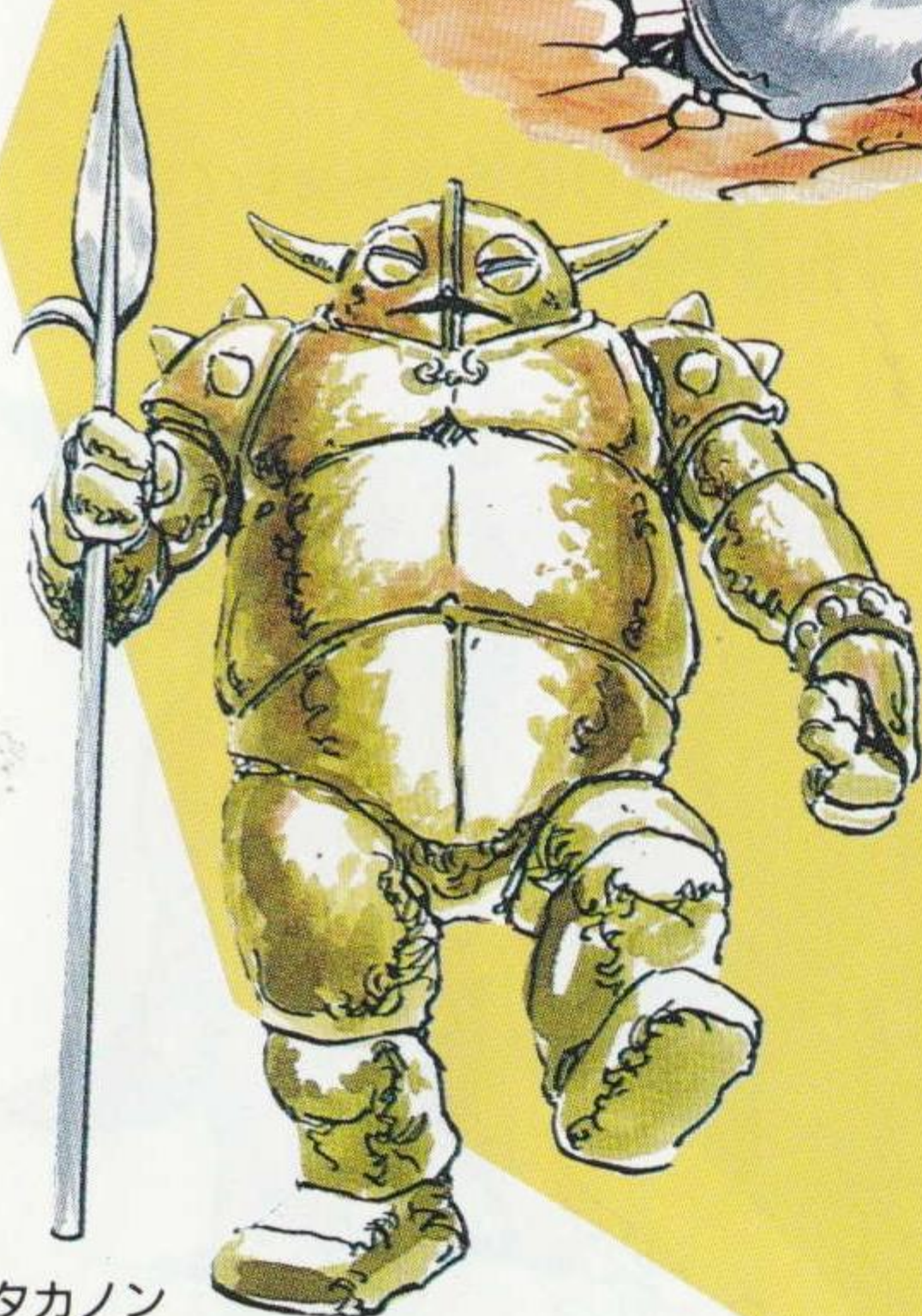
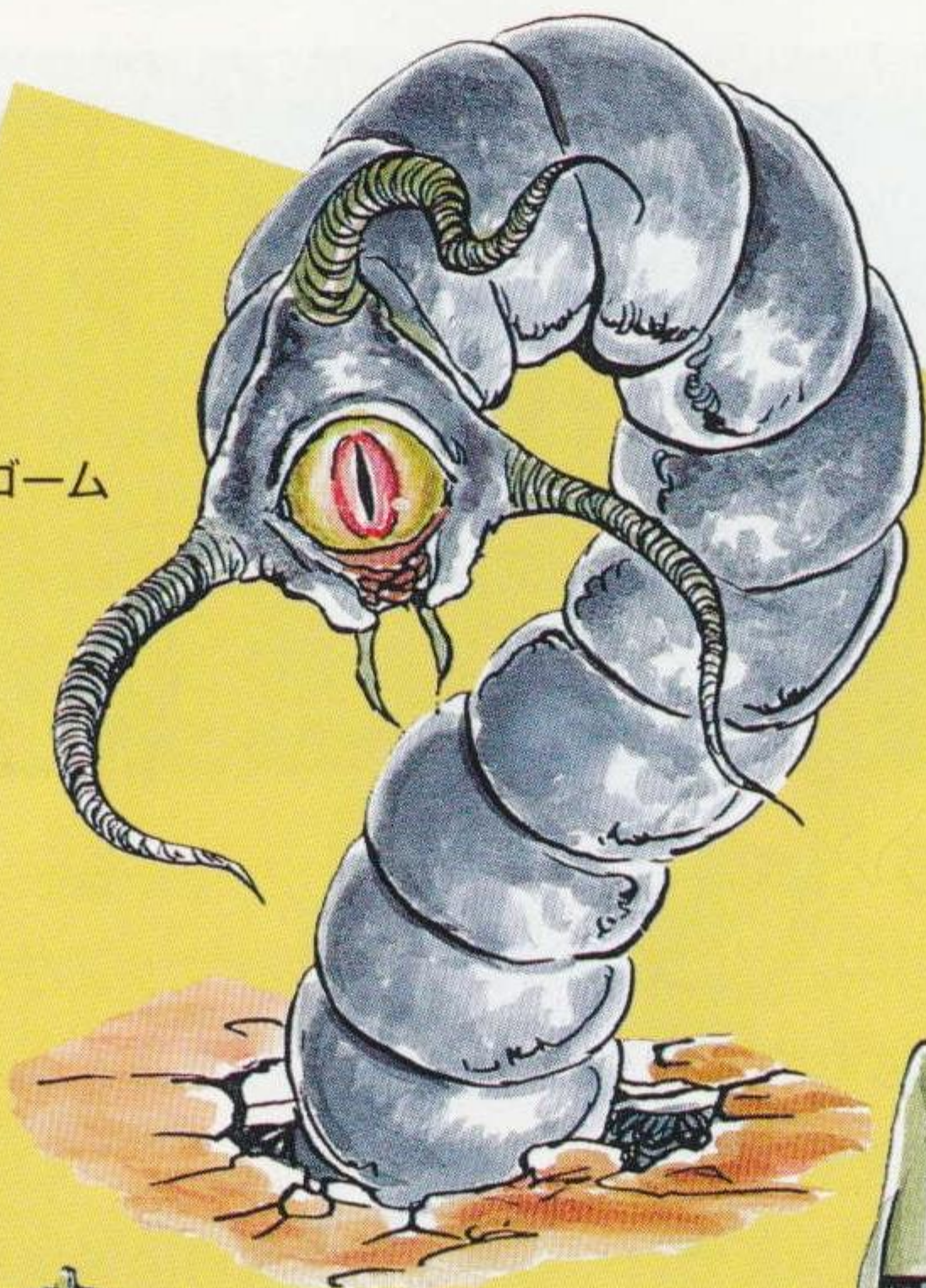


ゾンビ

死の世界からよみがえったゴースト。いた
るところで、うろうろしている。



ダゴーム



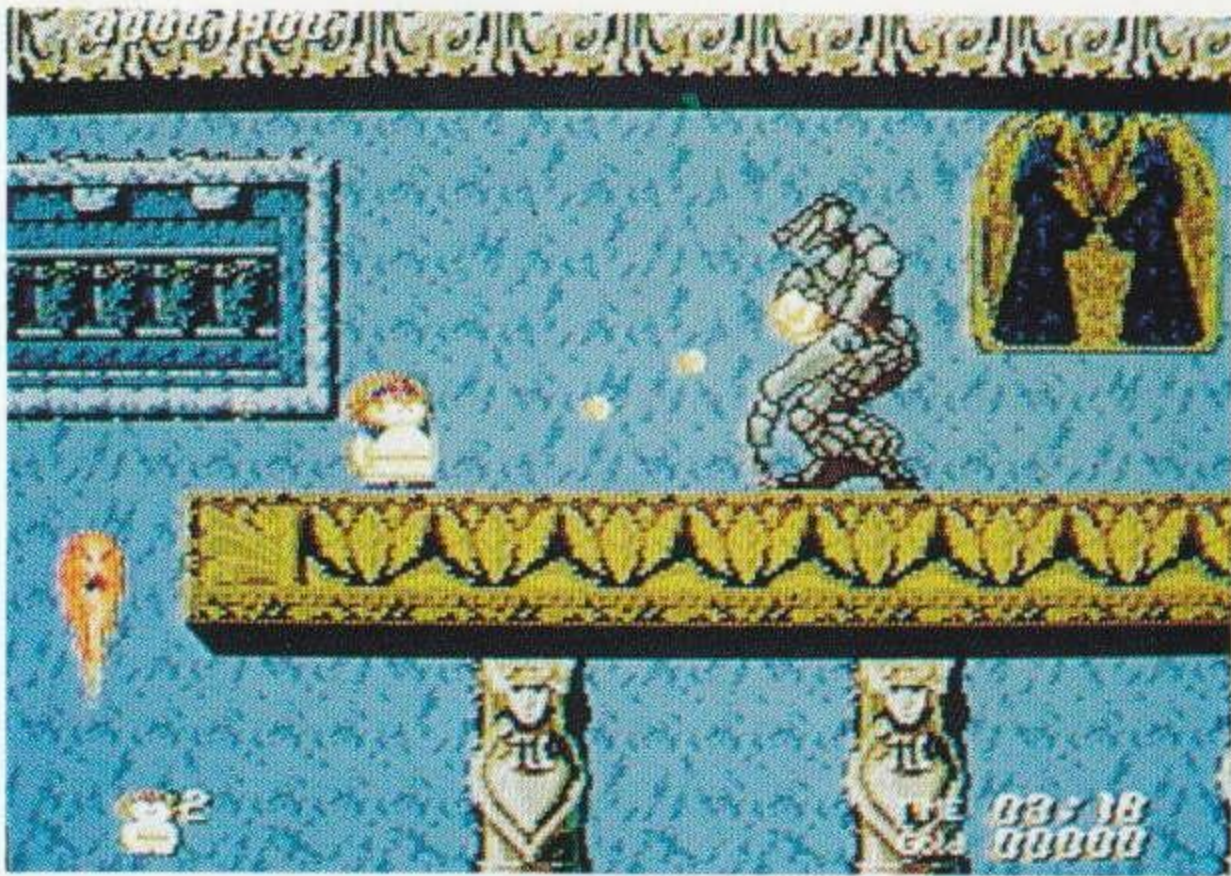
タカノン

岩を転がして攻撃してきたりする手ごわい相手。倒し方には工夫がいるかも……。



メイジ

火の球で攻撃を仕掛けてくるので注意が必要。ただし、移動はしない。



ステージ5：〈ボス：グロッコ〉

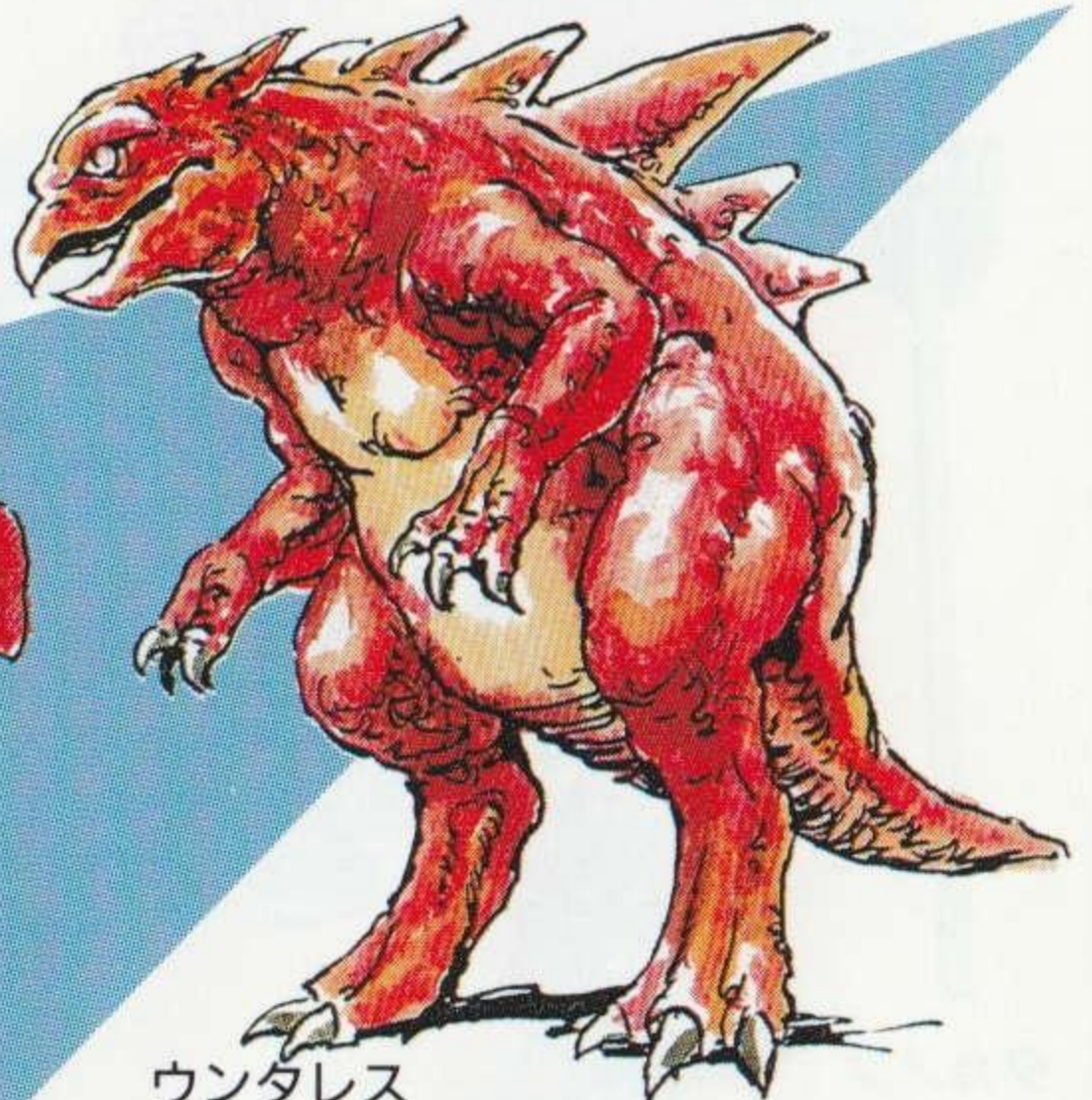
巨大な城の中。ここにもいろいろなトラップが待ち受けている。そればかりではない。今までにみたこともないような魔物が待ち受けていた。

それぞれの敵は、かなり強敵でそれなりの覚悟を決めていかないとクリアすることは不可能であろう。



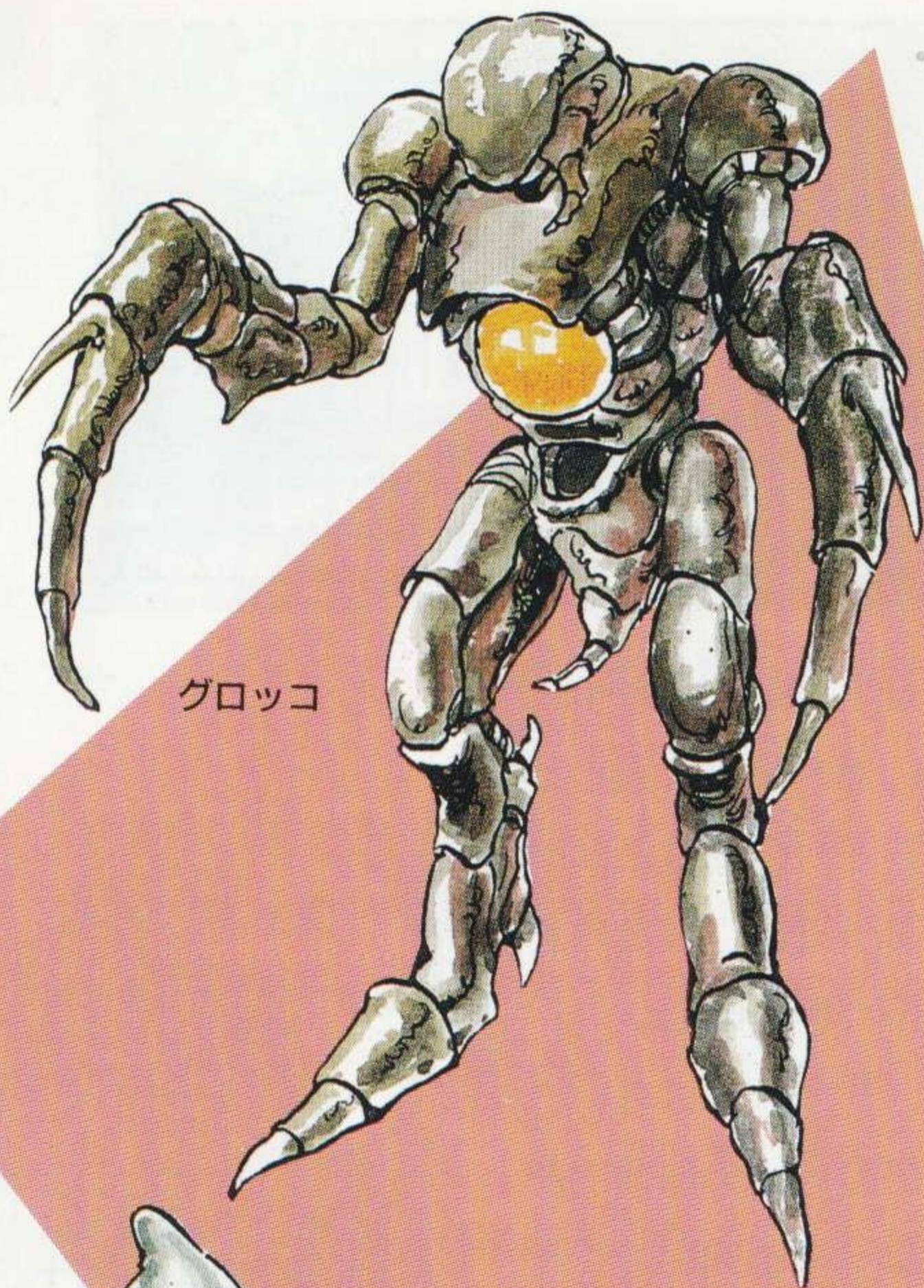
スケルトンナイト

盾を持って宙を飛び回る。正面からの攻撃にはビクともしない。



ウンタレス

炎を連続して吐いてくるモンスター。炎を避けながら攻撃しなくてはならず、手ごわい相手。



グロッコ



ゴースト

大量たいりょうに列れつをなして襲おそってくる。
武器ぶきを選えらばないと倒たおすことは
できない？

ハーピー

群むれをなして飛とび回まわる怪鳥かいちよう。





ステージ6：〈ボス：ワードナ〉

ワードナの^{ひそ}潜む^{へや}部屋に通じる^{つう}
地下^{ちか}。それぞれの部屋にはワ
ードナによって^え選り^ぬ抜かれた
魔物^{まものたち}達が行く^い手を^て阻む^{はば}。

ここでは、トラップはない。
魔物^{まものたち}達との^{ちから}力だけの^{しょうぶ}勝負であ
る。ここまで来る^く間に^{あいだ}たくわ
えた^{けいけん}経験を生かして^い突^つき進^{すす}も
う。

果た^{はた}してワードナの^{しょうたい}正体とは…

…？



レインボウ

ワードナ





攻 略 法

タイミング・ゲームなので、早く敵の動くパターンをつかみ、タイミングよく攻撃、回避をすとうまくいきます。

アイテムの揃えかたは、最初の店でまず、星の魔法を買えれば買った方が良いでしょう。もしすでにマントを手に入れていれば、針と糸も買っておくといいです。

次の店では月の魔法か、太陽の魔法のどちらかを買ひ、まだゴールドがあれば、その他の物を買うのも良いでしょう。

そして最後の店では、是非ともマント・時計・針と糸、持てる限りの物を買っておいて下さい。ただし注意したいのは、ゲームを最後までやるつもりであれば、武器は月の魔法にしておかないと、最終面でかなり苦しむ事になります。

途中で、妖精の像を取ることによって、主人公の後ろに妖精がつきます。この妖精は敵を攻撃こそしませんが、敵がこの妖精に触れると、たちまちその敵は死んでしまうという、力強い見方です。うまく妖精を使いこなせるようになれば、ゲームのコンプリートも楽になるでしょう。

妖精は最高2人までつけることができます。





VISGO

この商品は、(株)セガ・エンタープライゼスがSEGA MEGA DRIVE専用のソフトウェアとして、自社の登録商標 **SEGA** の使用を許諾したものです。

T-58013